取扱説明書

DAYTONA CORP.

S65418①/⑫

*取り付ける前に必ずお読みいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。
*この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。
*この商品もしくはこの商品を取り付けた車輌を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

ベアリング支持 ハイカムシャフト	適応車種	商品NO.
	ＡＰＥ50/100 ＸＲ50/100 モタード	65418

■ご使用前に必ずご確認ください■

本書では正しい取付、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。
取扱説明書内の指示や注意事項を守らずに使用した事による事故や損害については、当社は一切の責任を負いません。

⚠警告	要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。
⚠注意	要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	禁止	禁止の行為であることを告げるものです。
法令違反	条件次第では法令違反となることを告げるものです。	その他	その他の警告及び注意を告げるものです。

禁止

- 締め切ったガレージ内部や通気の悪い場所で長時間エンジンをかけないでください。一酸化炭素中毒になる恐れがあります。
- ガソリンは非常に引火しやすいため、作業場所は一切の火気をさけてください。また、蒸発（気化）したガソリンは爆発の危険もあるので、通気の良い場所で作業を行ってください。
- この商品に、不用意に曲げ・切削・溶接等の加工を行った場合、重大な事故につながる恐れがあります。商品には指定以外の加工を施さないでください。
- この商品は、記載されている適応車種以外の車両には使用しないでください。

実施

- 作業は、車両を安定して支えられるスタンド等を用意して安全を確保したうえで行ってください。
- 商品を取り付ける際、使用する純正部品および車両各部に欠損・損傷がみられた場合はその部品の再使用を避け、新しい部品に交換してください。そのままご使用になられますと、重大な事故につながる恐れがあります。

その他

- 走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を点検してください。

2009/05/20

⚠注意

・この商品の取り付けにはエンジン脱着と分解組み立てが必要になります。別途ホンダ純正のサービスマニュアルをご用意していただき、確実な作業を行ってください。また、この取扱説明書やホンダ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。適切な工具の準備が不十分であったり、または取り付け経験が無かったりする場合は、技術や経験を有したショップへ作業を依頼されることをお勧めいたします。

・作業を行う際は、必ずエンジンやマフラーが冷えている状態で行ってください。熱い状態で作業を行うと、火傷を負う原因となります。

実施

・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意してから作業を行ってください。不適切な工具で作業を行うと部品を破損したり、ケガをしたりする可能性があります。

・ボルト・ナット類の締め付けはトルクレンチを使用して、必ずそれぞれのサイズに合った規定の締め付けトルクで締め付けてください。

・取り付け後約１００ｋm走行しましたら各部を点検し、ネジの増し締め確認をおこなってください。その後は約５００ｋm毎に必ず点検を行ってください。

・部品や車両には、エッジや突起がある場合があります。作業は手を保護して行ってください。

禁止

・空ぶかし、急加速、急激なエンジンブレーキはエンジンに高い負荷がかかりますので避けてください。エンジンの耐久性に悪影響をおよぼすだけでなく、クランクシャフトの破損につながる恐れがあります。

法令違反

・一般公道では、道路交通法に則した制限速度に準じた運行を行ってください。一般公道を制限速度を超える速度で走行した場合、ライダー自身が道路交通法（速度超過）によって罰せられます。

その他

・この商品あるいはこの商品を取り付けたオートバイを第三者へ譲渡する場合には、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

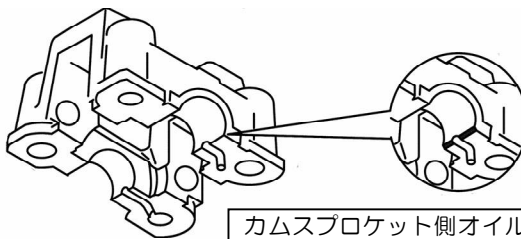
・ボルト、ナット、ノックピン、一部のパッキンは再使用しますので、取り扱いには充分注意して万一傷等がついた場合は純正の新品と交換して下さい。

・補修部品をお求めの際などに必要になりますので、この取扱説明書は大切に保管してください。

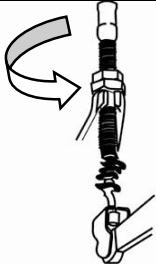
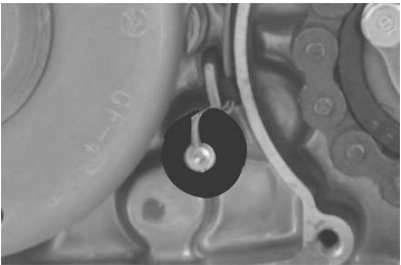
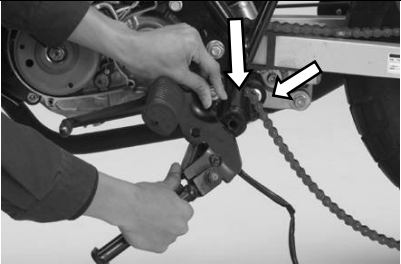
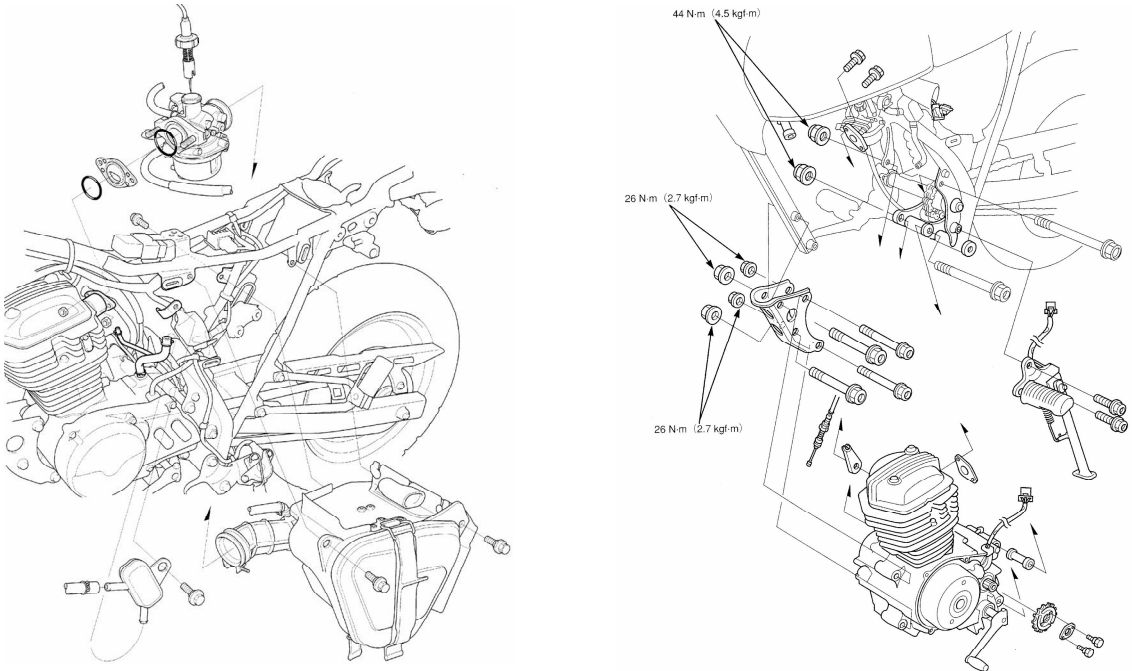
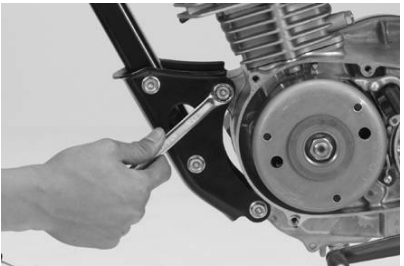
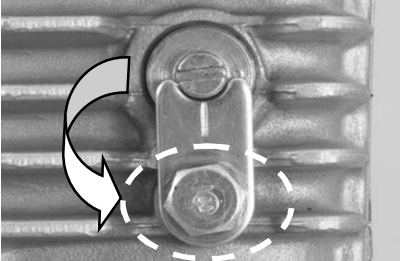
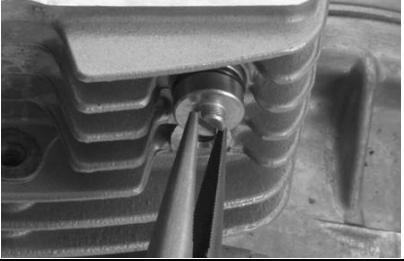
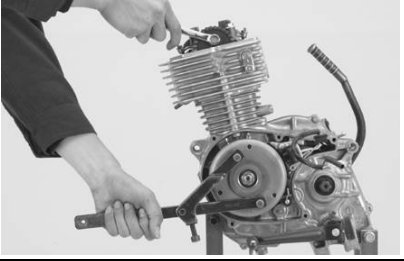
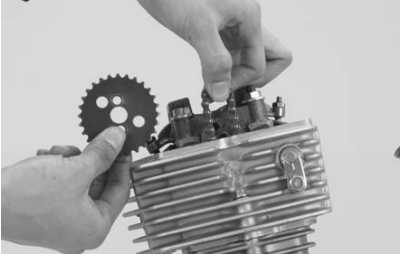
・この商品を取り付けるとオートバイの性能が変化します。特に交換直後など慣れるまでは十分に注意して操作し、オートバイの感覚を確かめてください。

・この商品は、予告なしに価格や仕様の変更をする場合があります。また、本文中に紹介した商品についても同様です。あらかじめご了承ください。

□　装着についての注意事項　□

・ この商品を取り付ける際カムシャフトホルダーは純正品を使用しますが、一部切削加工が必要になります。もし加工をしないで取り付けた場合、カムシャフトの破損およびカムシャフトホルダーの異常磨耗の原因となり、エンジン故障の原因となりますので必ず確認、加工を行ってください。（手順 7-2 参照）

・ オイルポンプおよびその下部にあるストレーナ（金網）のチェックとメンテナンスは定期的に行ってください。

□　本商品の特徴　□

- ＡＰＥ５０＋品番３５０３９／８０ｃｃボアアップキットとの組み合わせがお勧め。
- ＡＰＥ５０／１００ノーマルヘッド対応、ボアアップキットとビックキャブキットとの組み合わせで性能を発揮。
- 専用バルブスプリング付属　（必ず同時装着して下さい）

□　商品内容　□

No.	パーツ名	サイズ(mm)	数量	No.	パーツ名	サイズ(mm)	数量
①	カムシャフト		1	②	バルブスプリング	インナー（小）	2
③	バルブスプリング	アウター（大）	2				

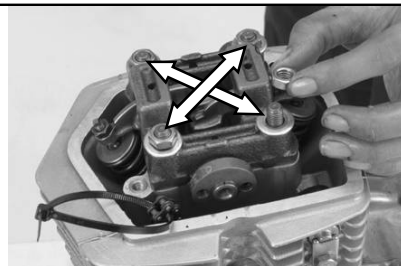
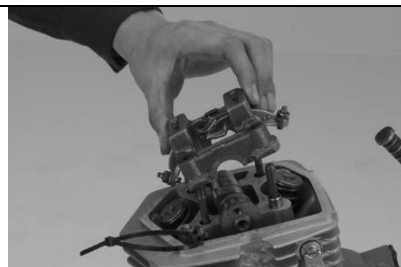
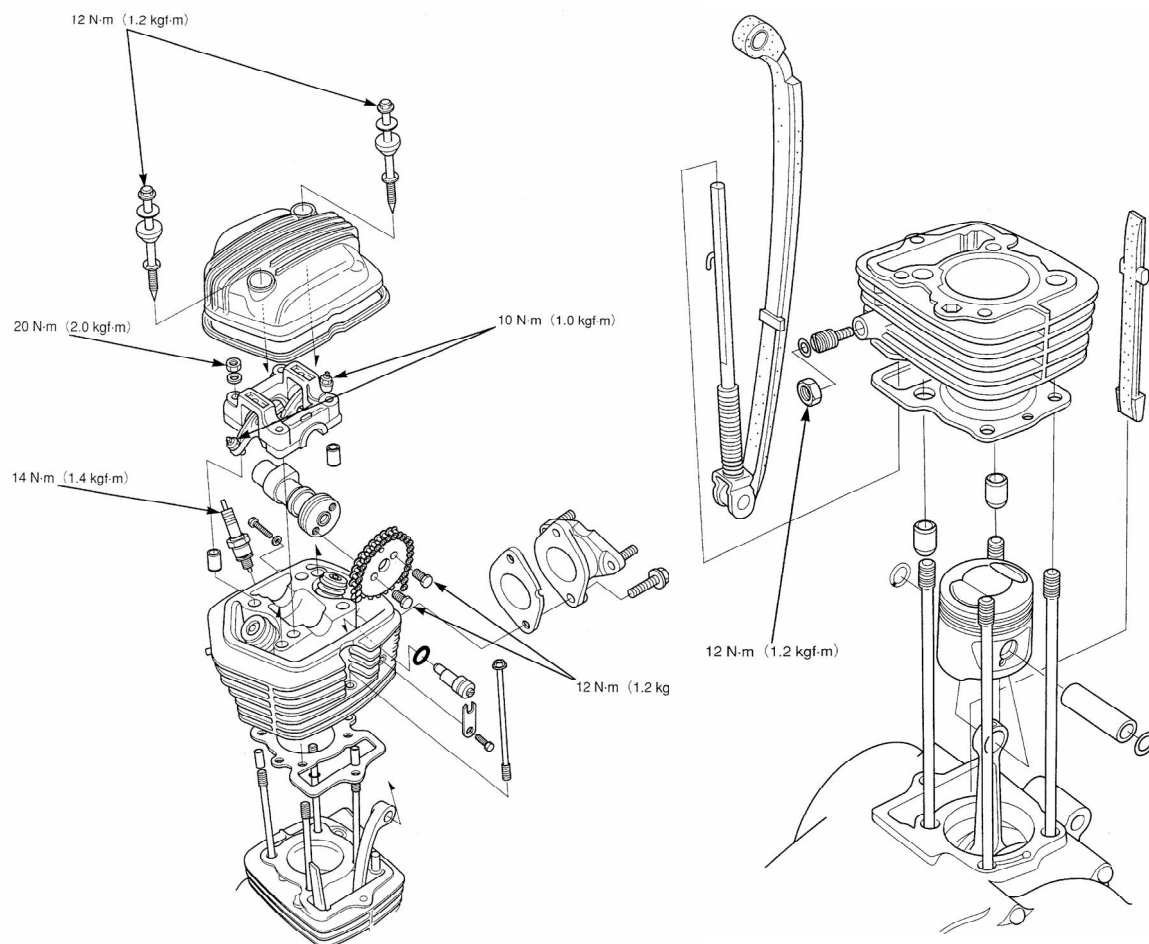
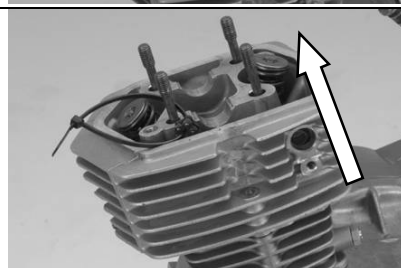
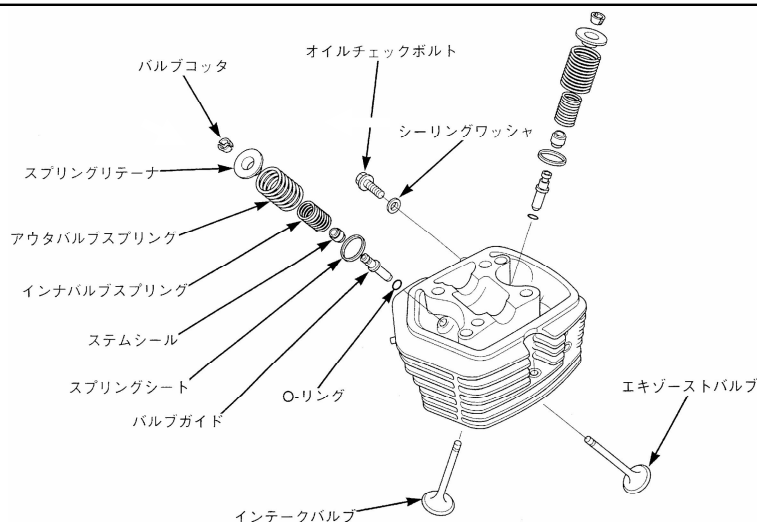
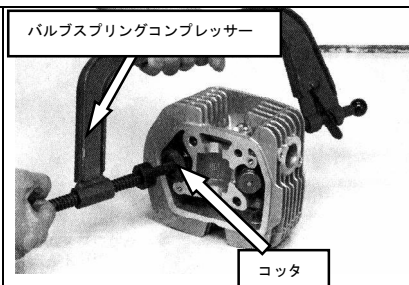
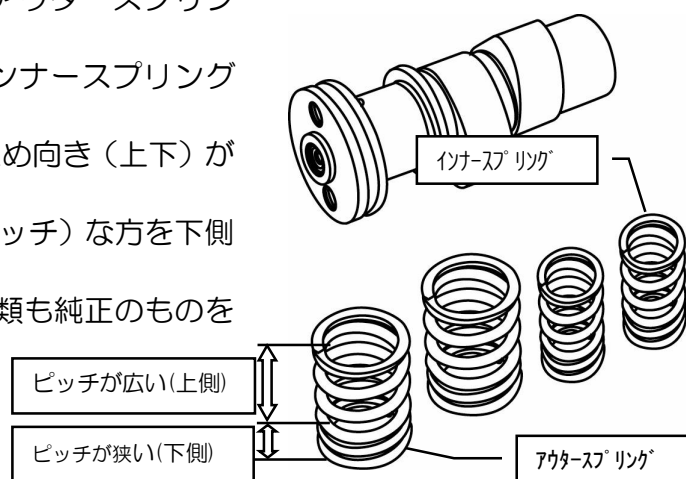
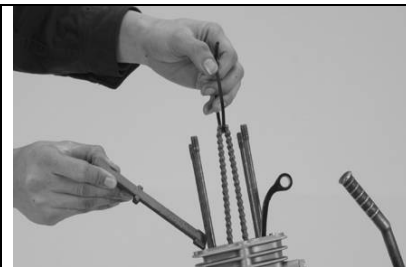
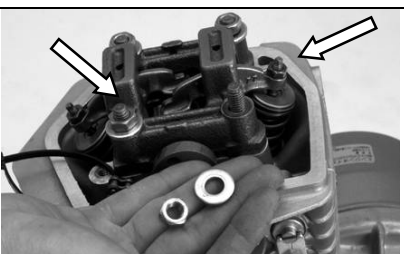
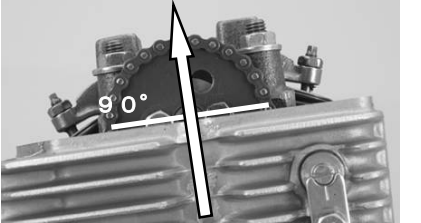
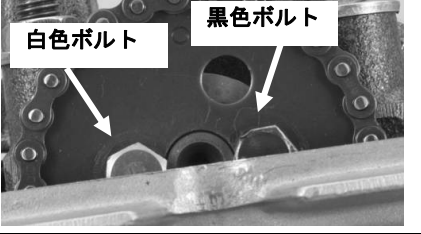
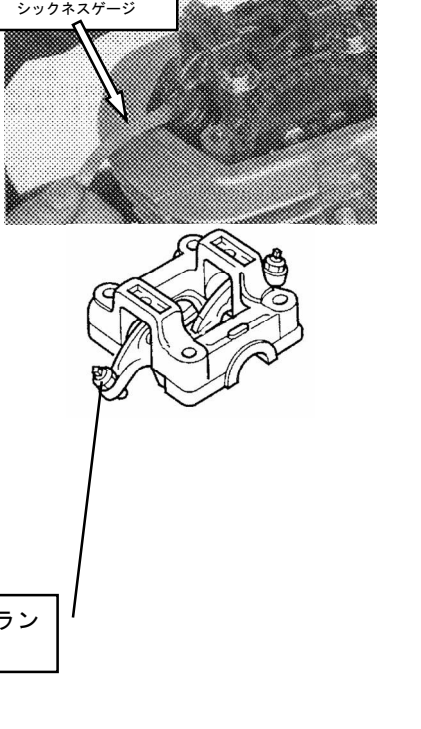
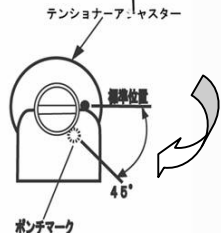
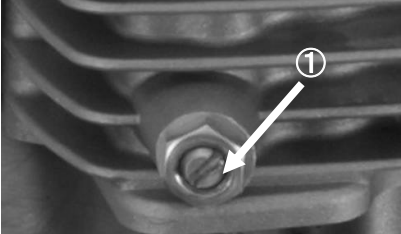
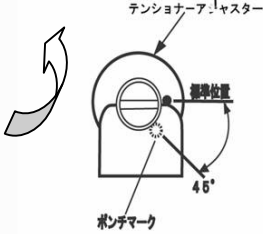
□　取付方法　□

＊　ＡＰＥ５０への組み付け手順を中心に説明しますので、他の車種の場合はこれを参考にして下さい。(ほぼ同じ内容)
作業はボアアップキットが組み込まれているエンジンに本商品を組み付ける工程を示します。
同時に組み込みの再はそれぞれの説明書を行き来しますが、説明書を良く読み作業を行ってください。

1	●作業に入る前に、フューエルコックをＯＦＦにして下さい。 又、サイドスタンドを取り外しますので、レーシングスタンド等を使用し作業を行ってください。 ホースクリップを移動し、ガソリンホースを、フューエルコックより外してください。※外す際に、ガソリンが目等に入らないように注意してください。	
2	●フレームサイドからシートを固定しているボルトを外し、シートを後方へ引っ張るようにし、純正シートを外してください。 ガソリンタンク固定ボルトを外し､タンクを後方に引き、タンクを車体から外して下さい。このとき、左右のサイドカバーも外してください。 注意　外したタンクから、ガソリンが流れないよう、保管してください。	
3	●キャブレタートップキャップを緩め､キャブレター本体からスロットルバルブ･アクセルワイヤーを取り出してください。 注意　取り外したスロットルバルブはワイヤーからは外さず、傷、ホコリが付着しないようにし、保管してください。	
4	●＋ドライバーで､ラバーマニホールドバンドを緩めてくださいマニホールド・エンジン側のボルト・２本を緩め、ヘッドからキャブレター・マニホールドを取り外してください。 ラバーマニホールドからキャブレター本体を外してください。 注意　キャブレター内部にガソリンが残っている場合は、大変危険ですので、火災等に充分注意し、保管してください。	
5	●シリンダーヘッドＥＸ部に固定している六角ナットと、右ステップ後方のボルトを緩め、マフラーを外してください。その後、プラグキャップを外して下さい。 注意　マフラー取り外しの際は、マフラー本体が充分冷えている事を確認し、火傷をしないよう作業を行ってください。	

6	●車体左側・スプロケットカバーより出ている配線をたどり、カプラーの結線を外してください。外すカプラーは白色・緑色・黒色の３種類です。 左側スプロケットカバーを固定しているボルト・５本を緩め、カバーを外してください。 注意　ガスケットが切れてしまった場合は、スクレイパー等できれいに取り去り、新品のガスケットを装着してください。	
7	●右側クランクケース・クラッチケーブルホルダーのロックナットを緩め、クラッチケーブをはずします。	
8	●ニュートラルスイッチに装着してある樹脂製のスペーサーをはずし、保管してください。 スプロケットを固定しているボルトを２本緩め、ストッパープレートを少しまわし、カウンターシャフトから取り外します。 このプレートを取り外し、フロントスプロケットを引き抜きます。	
9	●サイドスタンドスイッチのハーネスを、車両のクランプから取り外してください。左ステップ・ホルダーをとめているナット２箇所緩め、ステップ・サイドスタンドを取り外してください。	

10	●クランクケース下側にジャッキ・当て木等を使用し､フロントエンジンハンガーをとめているボルト4本を緩めてください。 注意　ジャッキ又は当て木を必ずご使用下さい。ボルトを抜いた際に、エンジンが下るため、大変危険です。	
11	●後ろ側エンジンマウントのボルト・ナットを上下二箇所緩めます。ナットを緩めた後、上側のエンジンマウントボルトから抜きます。クラッチホルダー・カラーがボルトに固定されていますので、慎重に抜き取ってください。 ボルトを抜くと、エンジンがフレームから外れます。	
12	●ロックボルトを取り外し、セットプレートをズラシ、テンションアジャスターを取り外します。	
13	●カムチェーンテンションアジャスターを取り外します。 取り外す際は、ラジオペンチを使うと容易に取り外しが行えます。	
14	●カムスプロケット取り付けボルトをはずします。取り付けボルトをはずす際にカムシャフトの供回り防止のため、フライホイールを固定して作業して下さい、シザースホルダーを使用します。	
15	●カムスプロケットを手前に引き、取り外します。この時､カムチェーンが落ちないように注意してください。 注意　カムチェーンが落ちないように、針金・タイラップ等で脱落しないようにして下さい。	
16	●シリンダーヘッド・マウントボルトを緩め、取り外します。	

１７	●カムシャフトホルダーを固定しているナットを対角線上で数回に分け回し、取り外します。	
１８	●シリンダーヘッドから、カムシャフトホルダーを取り外します。	
１９	●シリンダーヘッドから、カムシャフト・ノックピンをはずします。 ノックピンは後で再利用します。 シリンダーヘッドを取り外してください。 ボアアップキット等を同時に組み込む場合は、シリンダーヘッドを取り外してからは、ボアアップキット等の説明書に従い、組み付けをして下さい。	

12 N·m（1.2 kgf·m）
20 N·m（2.0 kgf·m）
10 N·m（1.0 kgf·m）
14 N·m（1.4 kgf·m）
12 N·m（1.2 kg
12 N·m（1.2 kgf·m）

	バルブスプリングの組み付け 右図がシリンダーヘッドの分解図です、 この図中のバルブスプリングを交換して下さい	
20	●　取外したシリンダーヘッドに**バルブスプリングコンプレッサー**を使用してバルブスプリングを交換します。 バルブスプリングの交換ではバルブを取外す必要はありませんが 走行距離が進んだ車輌ではバルブのクリーニング、ステムシールの交換等して下さい、詳細なサービスデーターはＡＰＥサービスマニュアル等を参考にして下さい。	
21	●外径の大きなスプリングは　アウタースプリング 外径の小さなスプリングは　インナースプリングです、 （２段不等ピッチスプリングのため向き（上下）があります） スプリングのピッチが密（狭いピッチ）な方を下側に向け純正のものと 交換します。（スプリングシート類も純正のものを必ず使用して下さい）	
22	●シリンダーヘッドを装着する前に、カムチェーンを引き上げてください 図のようにタイラップや針金等をカムチェーンを通し カムチェーン引き出してください。 その後、カムチェーンガイドを組付けてください。	

23	●カムチェーンガイドは向きがありますので、方向を間違えずに組み込んでください。 ＊シリンダーを取り外していない場合は問題有りません シリンダーを抜いてしまった場合等は念のため再度確認して下さい。	
24	●シリンダーに、ノックピン・シリンダーヘッドガスケットを装着します。ノックピンの位置は、対角線上になりますので、間違えずに装着してください。 シリンダーヘッドガスケットがへたっている場合は新品に交換します。	
25	●カムチェーンテンショナーは右図のようにシリンダー上面位置でセットしてください。シリンダーヘッドの装着の際、テンショナアジャストボルトを装着す際の位置合わせが容易になります。	
26	●カムチェーンを通し、シリンダーヘッドを装着します。	
27	●シリンダーヘッドにテンショナアジャストボルトを通し、テンショナを固定します。セットプレートはまだ仮組みにしておきますので、ロックボルトは仮組みにしておいてください。	
28	●テンショナーアジャスターのポンチマークは標準位置に設定してください。調整の範囲は４５°有りますが、この状態では標準位置で、組み上げ後に調整します。	
29	●カムシャフトのカム面①・ジャーナル面②にエンジンオイルを塗布してください。	

30	●シリンダーヘッドにカムシャフトを装着します。 装着時にカム山が下向きになるように装着してください。 その後、ノックピンを対角線上に装着します。	
31	●カムスプロケット側のオイル通路出口がふさがりますので、この部分のフランジ内側にオイルが回るよう図のように面取り加工（幅1mm～1.5mm）を行い、フランジ部分へのオイル通路をつくります。 注意　加工後は部品をきれいに洗浄して、切削粉などがエンジン内部に入らないように注意してください。	1.5mm
32	●カムホルダーを装着しますが、ロッカーアームのタペットアジャストナット、スクリューを緩めてください。（カムシャフトを交換しますので 再度タペット調整が必要です。） カムホルダーを装着し、ナットワッシャーを締めこみます。 完全なナットの固定はせず、対角線上で数回に分け、ナットを締め付けて下さい。 完全な締め付けには、トルクレンチを使用してください。	
33	●トルクレンチを使用し、カムホルダーの締め付けを行って下さい。締め付ける場合は対角線で締め付けます。 規定トルク２．０Ｋｇｆ／ｍ 【２０N／m】	
34	● ヘッド装着後、仮留めをしていたシリンダーヘッド・マウントボルトをトルクレンチにて締め付けてください。 規定トルク　１．２Ｋｇｆ／ｍ 【１２N／m】	
35	●フライホイールの“Ｔ”マークが、クランクケースの“▽”形状の出っ張りに合うようにセットしてください。	

No.	内容	写真
36	●カムスプロケットの“O”印が上記の写真の様にシリンダーに対して垂直になる様に取りつけを行います。 この時に、フライホイールの“T”マークがクランクケースの合いマークからずれていな事を確認してください。	
37	●カムチェーン装着後、ボルト２本でカムスプロケットを固定してください。この時、ＩＮ側に黒色のボルトを使用し。ＥＸ側に白色のボルトを装着してください。 最後の締め付けは、トルクレンチで締め付けを行ってください。	
38	● 締め付けは、トルクレンチで行ってください。締め付ける際にカムシャフトが回るため、外す時と同じ要領でフライホイールを固定し、締め付けを行ってください。 **規定トルク**　１．２Ｋｇｆ／ｍ 【１２Ｎ／ｍ】	
39	●バルブクリアランスの調整には、クランク左側のフライホイールのＴマークとクランクケースの合わせマークを一致させます（この位置でピストンの上死点位置です） カムスプロケットの“O”マークがシリンダーヘッドの上面に対して、垂直になっているか確認します。ロッカーアームとバルブステムの間にシックネスゲージを入れバルブクリアランスを測定、調整します。（調整にはタペットアジャストレンチ等を使用して下さい、ＡＰＥ５０の場合はモンキーと同じで四角のレンチが必要ですＡＰＥ１００の場合はタペットアジャストスクリューがマイナスですので薄いマイナスドライバー等を利用して下さい。） タペットクリアランス（IN,EX 共通）: 0.05±0.02mm	
40	●シリンダーヘッドカバーを取りつけます。カバー・ガスケットを装着し、トルクレンチにて締め付けを行ってください。 **規定トルク**１．２Ｋｇｆ／ｍ 【１２Ｎ／ｍ】	

41	●エンジンの車体への装着は、これまでの組付け手順の取り外しと逆の手順で行ってください。各部分の規定トルクは右記のようになります。	**規定トルク** ■リアエンジンマウント ４．５Ｋｇｆ/m　【44N/m】 ■フロントエンジンマウント ２．７Ｋｇｆ/m　【26N/m】 ■クランクケースカバー １．Ｋｇｆ/m　【12N/m】 ■左ステップ ２．７Ｋｇｆ/m　【26N/m】 ■タンク・シート ２．７Ｋｇｆ/m　【26N/m】
42	●カムチェーンの調整を行います。 エンジンを始動し、軽く暖気運転を行います。暖機運転終了後、エンジンを停止します。 テンショナアジャスタを留めているセットプレートボルトを緩め、ポンチマークを標準位置から４５°の位置にずらし、ボルトを締め付けます。	
43	●テンショナアジャストボルトロックナット①を緩め、テンショナアジャストボルトを緩めます。アジャストボルトをゆるめる事により、スプリングの張力により、カムチェーンテンショナが自動調整されます。 自動調整完了後、アジャストボルトが動かないように保持し、ロックナットを締め付けます。 **規定トルク**　１．２Ｋｇｆ/m 【12N/m】	
44	●テンショナセットプレートボルトを緩め、ポンチマークを標準位置まで戻します。その後、セットプレートボルトを締めつけてください。 エンジンを始動し、カムチェーンの音が適正な音になっているか確認します。 適正な音でない場合は、テンショナアジャスタを標準位置から　４５°の範囲で調整してください。	

□　補修部品　□

2007年８月時点での品番および価格となります。

商品名	品番	税込価格	備考
キョウカバルブ SPG セット	61018	¥2,100	

株式会社デイトナ　〒437-0226　静岡県周智郡森町一宮 4805
URL: http://www.daytona.co.jp　E-mail: info@daytona.co.jp
◎デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」0120-60-4955 まで